

▶掲載サイト: <https://www.pointtown.com/articles/>

①右の大キーワードをタイトルや記事中に含める	引っ越し 費用 借りる
②右の中キーワードをタイトルや記事中に含める	関連性の高い検索 引越し費用 借りる 市役所 ゆうちょ引っ越しローン 急な引越し お金 がない 引っ越し費用 国から借りる 引っ越し費用 ローン ろうきん 引っ越し資金 助成金 引越し費用 借りる 銀行 社会福祉協議会 転居費用 貸付
・ドキュメント名に名前を追記してください 例「KW:〇〇執筆」 ・h3は増減させても問題ありませんが、h2は原則変更不可です。 ・スマホ表示でも読みやすくなるよう、2行以上になる場合は改行を心がけてください。 ・適宜画像の挿入をお願いいたします。 ・コメント(黄色いマーカー)は承認して消さず、そのままご提出ください。(消すとどこを修正していただいたのかわからなくなります) ・文字装飾(悪い強調は赤、良い強調は青)をお願いいたします。 ・スクショには出典をつけましょう ・提出前にコピーチェックをお願いします。(注意以上は文章変更) https://ccd.cloud/#google_vignette ・悩みや疑問があれば、いつでもSlackにご連絡ください。 ・大手消費者金融を執筆する際はこちらの注意点をご確認ください。 https://docs.google.com/document/d/1AvvaB_sNHqml2t0KFoEz7A3wFDC0PPTBRSSuAG9pVCA/edit(表は別のメディアで使用しているのでコピー不可) ・ドキュメントのツールの「スタイル」からタイトル、見出し2、見出し3などを反映させてください。 (<h2>などは削除をお願いします)	

引っ越し費用を借りる！市役所や国から助成金を借りる条件、ろうきん、おすすめ銀行も



「市役所で引っ越し費用を借りるための条件とは？」
「引っ越し費用として助成金がもらえるって本当？」

これから引っ越しをする予定がある方は、このような疑問をお持ちなのではないでしょうか。

国や市役所から低金利で引っ越し費用を借りられれば、家計のやりくりが楽になりますよね。また、申請できる助成金があれば、費用の負担をさらに軽減できて大変お得です。

そこで今回は、市役所や国から引っ越し費用を借りるための条件や申請できる助成金、社会福祉協議会の貸付制度について解説します。

引っ越し費用を借りるのにおすすめの金融機関もいくつか紹介しますので、ぜひ参考にしてみてください。

引っ越し費用を借りる！市役所や国から借りるための条件とは？

市役所や国から引っ越し費用を借りるためには、下表のうちいずれかの条件を満たさなければなりません。

貸付対象

低所得者世帯	必要な資金を他から借り受けることが困難な世帯（市町村民税非課税程度）
障害者世帯	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者等の属する世帯
高齢者世帯	65歳以上の高齢者の属する世帯

出典：[生活福祉資金貸付制度](#) | 厚生労働省

生活上で経済的な困難を抱えている人を貸付対象としているため、貸付けには審査があり、すべての人が引っ越し費用を借りられるわけではないのです。

とはいえ、貸付対象となるかは申請してみないとわからないので、まずは市役所で相談してみてください。

なお、市役所や国から借りられる引っ越し費用は、総合支援資金のうちの一つである「住宅入居費」です。

さらに詳しい貸付条件は、下表で確認しておきましょう。

貸付限度額	40万円以内
据置期間	貸付けの日（生活支援費とあわせて貸付けている場合は、生活支援費の最終貸付日）から6月以内
償還期限	据置期間経過後20年以内
貸付利子	保証人あり：無利子 保証人なし：年1.5%
保証人	原則必要

	ただし、保証人なしでも貸付可
--	----------------

参照: [生活福祉資金貸付条件等一覧](#) | 厚生労働省

引っ越し費用を借りる！ゆうちょに引っ越しローンはある？

残念ながら、ゆうちょでは引っ越しローンを取り扱っていません。ゆうちょで定期貯金(定額貯金)を行っている方は「貯金担保自動貸」を利用するとよいでしょう。

ゆうちょ銀行の自動貸付けは、定期貯金(定額貯金)を担保とした金融サービスです。借入審査はなく、[早い時間帯に申込みば、当日中に借入れできます](#)。

300万円以内かつ貯金額の90%までが限度額となっており、貯金額によっては引っ越し費用を十分に賄えるでしょう。

貸付期間は2年ですが、年利が0.25～0.5%と大変低く設定されていますから、時間にゆとりを持って返済できますよ。

借入限度額	300万円(預け入れ金額の90%以内)
実質年利	定額貯金:0.25% 定期貯金:0.5%
貸付期間	2年
担保・保証人	定額貯金または定期貯金
Web完結	不可

【[貯金担保自動貸付けの詳細はこちら](#)】

引っ越し費用を借りる！急な引っ越しでお金がないなら、ろうきんのフリーローンがおすすめ



全国各地の「ろうきん」が提供しているフリーローンを利用すれば、引っ越し費用を用意しやすくなるでしょう。

ろうきんでは「フリーローン」や「多目的ローン」の名称で用途自由な資金の貸付けを行っています。

限度額は地方によって多少異なるものの、**500万円～1,000万円まで借入可能なろうきんがほとんど**です。

融資期間は10～15年となっており、引っ越し費用の借入に活用しやすい条件となっています。

ろうきんのフリーローンを利用したい方は、公式サイト[の全国のろうきん一覧](#)から地元のろうきんを調べ、詳しい金利を確認してみてください。

引っ越し資金として助成金がもらえるって本当？

引っ越し資金として、国や自治体から受け取れる助成金があるのは事実です。

借入れと異なり、返済の義務がないため、お金を借りる前に受け取れる補助金がないか、よく確認しておきましょう。

引っ越しに対する助成金は、**経済的に負担の大きい世帯を主な対象としている**ため、収入面で不安がある方は特にしっかり調べておく必要があります。

主な助成金と概要は下表でチェックしてみてください。

助成金の種類	概要
住宅確保給付金	離職や廃業で住居の維持が厳しい人に、家賃相当の金額を支給する
結婚新生活支援事業	世帯年収が少ない夫婦が結婚に伴う引っ越しをする際に支給される

また、自治体によっては引っ越し資金として利用できる助成金制度が別途に用意されているケースもあります。詳しくは自治体の公式サイトで確認してみてください。

引っ越し費用を借りる！おすすめ金融機関①ネット銀行

ここでは、引っ越し費用を借りる際におすすめのネット銀行を紹介します。

- 住信SBIネット銀行
- きらぼし銀行
- トマト銀行

いずれも用途を問わないローンがあり、Web完結でスムーズな融資を受けられるのが特徴です。それぞれの詳細をぜひチェックしてみてください。

①住信SBIネット銀行カードローン

出典: [住信SBIネット銀行](#)

「住信SBIネット銀行」のカードローンは、特定の条件を満たすと金利が引き下がる仕組みになっています。

条件をすべてクリアすると、**最大で0.6%の引き下げが可能**。通常時よりもさらにお得な金利で借入れできます。

キャッシュカードですべての取引が完結するため、個別にローンカードを持つ必要もなく、借入を周囲に知られることもありません。

融資にかかる時間	数日～1週間
融資上限	10万～1,000万円
実質年利	1.89%～14.79%
担保・保証人	不要
Web完結	可

※保証会社はSMBCコンシューマーファイナンス株式会社に審査を依頼します。

※審査の結果によってはご希望に沿えない場合がございます。

※カードローンの金利は変動金利です。

※金利は金融情勢等により見直すことがあります。

※お申込みの際には、当社所定の審査をします。審査の結果によってはご希望に添えない場合があります。

※カードローンについて詳しくは商品概要説明書をご覧ください

【[住信SBIネット銀行の詳細はこちら](#)】

②きらぼし銀行カードローン

出典：[きらぼし銀行](#)

「きらぼし銀行」のカードローンは、Web完結で自宅から申込み可能(※2)。[口座開設とカードローンの申込みを同時にできる](#)ため、余計な手間がかかりません。

契約と同時に融資を受けることも可能ですから、待機期間が最低限で済むのも助かります。原則として保証人や担保は不要ですから、借入れが初めての方でも申込みやすいでしょう。

もちろん用途に制限はないので、引っ越し費用の資金源にうってつけです。

審査にかかる時間	最短3～5営業日
融資上限	10万～1,000万円
実質年利	1.6%～14.8%(※1)
担保・保証人	原則不要
Web完結	可(※2)

※金利は7種類となります。

※無理なくご返済いただける範囲で計画的にご利用ください。

※表記金利は保証料を含めた金利となります。

※ご融資限度額および金利は、審査のうえで決定させていただきます。

※適用期間中でも、金利情勢により変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※実際のご融資利率は、お申込み時ではなく、お借入れいただく日の利率が適用されますので、ご注意ください。

※毎月のご返済金額は、前月の約定返済日の最終残高に応じて、異なります。

※1:表記金利は保証料を含めた金利となります。また金利は、審査のうえで決定させていただきます。実際のご融資利率は、お申込み時ではなく、お借入れいただく日の利率が適用されますので、ご注意ください。

※2:お取引内容によって、ご来店いただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。

【[きらぼし銀行カードローンの詳細はこちら](#)】

③トマト銀行

出典:[トマト銀行](#)

「トマト銀行」のフリーローン「充実生活」は、パートやアルバイトの方でも収入が安定していれば借入が可能です。

審査の素早さも強みで、最短翌営業日に結果を受け取れます。[10万円から1万円単位で借入れできる](#)ため、本当に必要な額だけ利用できるのも嬉しい点です。

利用期間が20年以内となっているので、無理のない範囲で返済したい方も活用しやすいでしょう。

審査にかかる時間	最短翌営業日
融資上限	10万～1,000万円(※) パート・アルバイトの方は30万円以内
実質年利	年3.8%～年14.5%
担保・保証人	原則不要
Web完結	可

※審査によりご希望額から減額となる場合がございます。

【[トマト銀行の詳細はこちらから](#)】

引っ越し費用を借りる！おすすめ金融機関②カードローン

続いて、高い知名度を誇る大手消費者金融のカードローンを紹介します。

- アイフル
- プロミス
- SMBCモビット
- アコム

大手消費者金融のカードローンは、わずかな時間で審査が完了するため、素早い融資を希望する方におすすめです。

①アイフル

「アイフル」の審査時間は最短18分(※1)。引っ越し直前で借入れを希望する方にとって、大変心強い業者です。

パートやアルバイトの方でも、収入の安定性が認められれば十分に借入れが可能。

初回の借入れなら30日間無利息の特典が付いていますので、引っ越し費用だけを借りるだけなら最低限のコストで利用できるでしょう。

24時間365日振込に対応しており、タイミングを問わずに借入れできるのも助かります。

審査にかかる時間	最短18分(※1)
融資上限	800万円(※2)
実質年利	3.0%～18.0%
無利息期間	30日間
担保・保証人	不要

※1:お申込み時間や審査状況によりご希望に添えない場合があります。

※2:ご利用限度額50万円超、または他社を含めた借り入れ金額が100万円超の場合は源泉徴収票など収入を証明するものがが必要です。

【[アイフルの貸付条件・詳細はこちら](#)】

②プロミス

「プロミス」は圧倒的なスピード感を持つカードローンです。審査時間はたったの3分(※1)。

切羽詰まった状況でもすぐに現金を用意できるため、いざというときにも頼りになります。

上限額は500万円と、他社と比べてやや少ないものの、引っ越し費用を借入れるだけなら全く問題ありません。

特筆すべきは、最大金利の低さです。通常、借入額が少ないほど適用金利が大きくなります。しかし、プロミスの最大金利は、[一般の水準より0.2%低く設定されている](#)のが特徴。

また、初回に限り30日間の無利息期間がある点もおすすめポイントです(※2)。

審査にかかる時間	最短3分(※1)
融資上限	1～500万円(※3)
実質年利	4.5%～17.8%
無利息期間	30日間

担保・保証人	不要
--------	----

※1:お申込み時間や審査によりご希望に添えない場合がございます。申込みの曜日、時間帯によっては翌日以降の取扱となる場合があります。

※2:メールアドレス登録とWeb明細利用の登録が必要です。

※3:借入限度額は審査によって決定いたします。

【[プロミスの詳細はこちらから](#)】

③SMBCモビット

借入金の管理が心配な方には「SMBCモビット」がおすすめです。同社の専用アプリは借入状況や返済日が大変わかりやすく表示されるため、計画的に完済を目指せます。

アプリにはオートログイン機能が付いており、毎回IDやパスワードを入力する手間が不要。[借入状況を常に把握でき、安心感がある](#)でしょう。

申込みから契約までがすべてアプリのみで完結できるので、自宅にパソコンがない方も気軽に利用してみてください。

審査にかかる時間	最短15分(※)
融資上限	800万円
実質年利	3.0%～18.0%
担保・保証人	不要

※申込みの曜日、時間帯によっては翌日以降の取扱となる場合があります。

【[SMBCモビットの詳細はこちら](#)】

④アコム

引っ越し費用の借入れだけでなく、継続的な利用を検討している方には「アコム」がおすすめ。アプリから増額申請ができるため、手続きが少なく大変便利です。

また、[クレジット機能の有無も選べます](#)から、後払いで経済状況を整えられるのも助かります。

審査は最短20分(※)。初めて利用する方は30日間利息が加算されないため、早めに返済してしまえば利用コストを抑えられるでしょう。

審査にかかる時間	最短20分(※)
融資上限	1～800万円

実質年利	3.0%～18.0%
無利息期間	30日間
担保・保証人	不要

※お申込時間や審査によりご希望に添えない場合がございます。

【[アコムの詳細はこちらから](#)】

引っ越し費用を借りる！社会福祉協議会に転居費用の貸付けはある？



社会福祉協議会に、転居費用の貸付制度は存在します。それが、本記事の[最初の項目](#)で触れた「住宅入居費」です。国や市役所で借りるお金は、社会福祉協議会が窓口となっています。

社会福祉協議会で借りられるお金は、ひと括りに「生活福祉資金」と呼ばれますが、生活福祉資金のなかでも、さらに細かい分類があるのです。

【生活福祉資金】→「総合支援資金」→住宅入居費

生活福祉資金は、生活上の理由で経済的な負担が大きい世帯に向けて設けられた貸付制度です。そのため、申請すれば必ず借りられるとは限らない点に注意してください。

貸付けを希望する方は、居住地域の市役所で相談すれば、社会福祉協議会の窓口を紹介してもらえるでしょう。

まとめ

引っ越し費用を借りる際の候補は、以下の通りです。

- 市役所や国から借りる「住宅入居費」
- ゆうちょの「貯金担保自動貸付」
- ろうきんの「フリーローン」
- ネット銀行の「カードローン」または「フリーローン」
- 大手消費者金融の「カードローン」

それぞれの詳細をじっくり確認して、どこでお金を借りるのか、検討してみるとよいでしょう。

ネット銀行や大手消費者金融を利用するには、以下の7社がおすすめです。

ネット銀行	大手消費者金融
住信SBIネット銀行 きらぼし銀行 トマト銀行	アイフル プロミス SMBCモビット アコム

※プロミス、モビットチェックあり

※きらぼし銀行・住信SBIチェックあり